

2011年度 地域研究コンソーシアム「地域研究次世代ワークショップ」(境界研究枠)
「文明の境界、政治の限界
—比較の中のパレスチナ／イスラエル複合紛争—」

目的: 文明の境界地域での紛争に対する複合的視座の構築

- ①「何をめぐる紛争なのか」自体が困難な紛争について、紛争に関係する人々の「紛争観」を議論
- ②紛争当事者の設定(境界の設定)のプロセスを問う
- ③異なる紛争地域の比較



ワークショップ

2012年1月中旬、東京大学にて開催(予定)

- ◆パレスチナ／イスラエル、旧ユーゴスラヴィア、チェチェン、イタリアの移民、東アジアとドイツを専門とする研究者が研究報告および議論を行う
 - ◆政治学や国際関係論だけでなく、人文地理学、歴史学、社会学等による紛争研究アプローチ
 - ◆様々な分野からの研究報告をもとに、歴史観・地理観、宗教等の文明論的差異(非政治)と政治との相互作用を議論
 - ◆準備研究会を開催
2011年12月11日、東京大学にて
- ※若手研究者17名が参加